



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月2日

上場会社名 安田倉庫株式会社
 コード番号 9324 URL <http://www.yasuda-soko.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤井 信行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 ゆかり
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3452-7311

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,349	1.0	841	7.2	890	5.3	609	7.9
2019年3月期第1四半期	11,468	11.7	784	87.8	845	81.6	565	97.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 3,948百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 1,347百万円 (51.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	20.91	
2019年3月期第1四半期	19.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	111,519	62,190	55.5
2019年3月期	121,420	66,489	54.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 61,948百万円 2019年3月期 66,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		12.00	19.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		8.50		8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,400	2.0	1,530	3.4	1,950	1.2	1,350	5.1	46.27
通期	46,900	1.6	3,150	11.4	4,000	8.4	2,760	1.1	94.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	30,360,000 株	2019年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,182,686 株	2019年3月期	1,182,686 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	29,177,314 株	2019年3月期1Q	29,395,324 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかに回復した一方、米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速懸念等を背景に先行き不透明な状況が続きました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物・輸出入貨物の荷動きは堅調に推移したものの引き続き企業間競争の激化などがあり、また、不動産業界では都市部におけるオフィスの空室率は低い水準で継続しつつも賃料水準は小幅な上昇に留まるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、本年12月に創立100周年の節目を迎える当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための計画として中期経営計画「YASDA Next 100」を策定し、次の100年の成長に向けた事業体制の構築と更なる成長を目指しております。その一環として、物流事業においては、付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供による取引の拡大や物流施設の拡充など事業基盤の強化を図り、不動産事業においては、既存施設の適切なメンテナンスと機能向上の推進による稼働率の維持・向上に努め、事業拡大を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益は不動産事業が前年同期並みであった一方、物流事業の減収により前年同期比118百万円減(1.0%減)の11,349百万円となりました。営業利益は物流事業における倉庫施設の拡張や新設による保管料の増加が寄与し、前年同期比56百万円増(7.2%増)の841百万円、経常利益は前年同期比44百万円増(5.3%増)の890百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比44百万円増(7.9%増)の609百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、営業収益は倉庫施設の拡張や新設により保管料は増加したものの、海上輸送における大型案件の減少などにより国際貨物取扱料が減少し、前年同期比127百万円減(1.3%減)の9,834百万円となりました。セグメント利益は施設の稼働率向上などにより、前年同期比108百万円増(15.0%増)の835百万円となりました。

不動産事業では、既存施設は高い稼働率を維持した一方、不動産管理業における営業費用の増加などにより、営業収益は前年同期比5百万円増(0.4%増)の1,639百万円、セグメント利益は前年同期比9百万円減(1.9%減)の511百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に投資有価証券の時価評価が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ9,901百万円減の111,519百万円となりました。

負債については、主に投資有価証券の時価評価減少に伴う繰延税金負債の減少により、前連結会計年度末に比べ5,602百万円減の49,328百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末に比べ4,299百万円減の62,190百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.9ポイント増の55.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,624百万円減の5,161百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費による資金留保等による増加もありましたが、主にその他に含まれる未払消費税等が減少したことや法人税等の支払により、161百万円減(前年同期は1,726百万円増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により1,250百万円減(前年同期は676百万円減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の減少により1,208百万円減(前年同期は339百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、概ね計画通り推移しております。従って、連結業績予想については、2019年5月9日発表の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,800	5,176
受取手形及び営業未収金	7,549	6,015
その他	700	791
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	16,046	11,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,744	33,589
機械装置及び運搬具(純額)	1,123	1,140
工具、器具及び備品(純額)	646	687
土地	22,692	22,692
建設仮勘定	124	704
有形固定資産合計	58,332	58,814
無形固定資産		
借地権	1,016	1,016
その他	1,696	1,725
無形固定資産合計	2,712	2,741
投資その他の資産		
投資有価証券	42,742	36,105
繰延税金資産	330	310
その他	1,279	1,590
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	44,329	37,984
固定資産合計	105,374	99,539
資産合計	121,420	111,519

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,574	2,897
短期借入金	3,900	4,200
1年内返済予定の長期借入金	3,862	3,497
未払法人税等	723	144
未払費用	1,122	811
その他	1,940	1,599
流動負債合計	16,124	13,149
固定負債		
長期借入金	20,839	20,065
繰延税金負債	11,563	9,627
退職給付に係る負債	2,123	2,095
長期預り敷金保証金	3,967	4,078
その他	312	313
固定負債合計	38,807	36,179
負債合計	54,931	49,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,803	2,803
利益剰余金	33,528	33,788
自己株式	△963	△963
株主資本合計	38,970	39,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,390	22,783
為替換算調整勘定	△310	△261
退職給付に係る調整累計額	195	195
その他の包括利益累計額合計	27,275	22,717
非支配株主持分	243	242
純資産合計	66,489	62,190
負債純資産合計	121,420	111,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業収益		
保管料	1,638	1,766
倉庫作業料	2,237	2,183
陸運料	2,976	3,047
国際貨物取扱料	2,032	1,759
物流賃貸料	411	403
不動産賃貸料	1,115	1,129
その他	1,056	1,060
営業収益合計	11,468	11,349
営業原価		
作業費	5,288	4,939
人件費	1,813	1,882
賃借料	558	592
租税公課	228	245
減価償却費	601	620
その他	1,529	1,519
営業原価合計	10,021	9,799
営業総利益	1,446	1,550
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	299	306
福利厚生費	58	58
退職給付費用	9	11
減価償却費	22	29
支払手数料	90	98
租税公課	31	33
その他	149	171
販売費及び一般管理費合計	661	709
営業利益	784	841
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	113	123
雑収入	15	12
営業外収益合計	129	137
営業外費用		
支払利息	60	70
雑支出	8	18
営業外費用合計	68	88
経常利益	845	890
特別利益		
固定資産売却益	2	-
特別利益合計	2	-
特別損失		
固定資産廃棄損	14	6
特別損失合計	14	6
税金等調整前四半期純利益	832	883

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
法人税、住民税及び事業税	144	162
法人税等調整額	120	113
法人税等合計	264	275
四半期純利益	567	607
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	565	609

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	567	607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	841	△4,606
為替換算調整勘定	△58	49
退職給付に係る調整額	△2	0
その他の包括利益合計	779	△4,556
四半期包括利益	1,347	△3,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,347	△3,947
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	832	883
減価償却費	623	649
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△43	△28
受取利息及び受取配当金	△114	△125
支払利息	60	70
固定資産廃棄損	14	6
売上債権の増減額(△は増加)	△556	1,537
仕入債務の増減額(△は減少)	969	△1,652
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	0	110
その他	402	△952
小計	2,190	499
利息及び配当金の受取額	113	124
利息の支払額	△59	△80
法人税等の支払額	△517	△706
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,726	△161
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△600	△1,131
無形固定資産の取得による支出	△51	△82
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	△24	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△676	△1,250
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	300
長期借入れによる収入	1,700	-
長期借入金の返済による支出	△1,159	△1,164
配当金の支払額	△199	△343
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	339	△1,208
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,389	△2,624
現金及び現金同等物の期首残高	4,876	7,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,265	5,161

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報
前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	9,955	1,513	11,468	-	11,468
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	6	120	126	△126	-
計	9,961	1,633	11,594	△126	11,468
セグメント利益	727	521	1,248	△463	784

(注) 1. セグメント利益の調整額△463百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△462百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	9,827	1,522	11,349	-	11,349
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	6	116	123	△123	-
計	9,834	1,639	11,473	△123	11,349
セグメント利益	835	511	1,347	△505	841

(注) 1. セグメント利益の調整額△505百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△499百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。